USB CD-RW ドライブ

CDRW-J1210USB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- **Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。**
  A:フロッピーディスクドライブ、C:ハードディスク、D:CD-ROMドライブ
- **文中[　]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。**
- **CD-ROM、音楽CD、CD-RW／CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。**
- **付属のWinCDRユーザーガイド(*)には、CD-RWに関しての用語集が記載されています。本書に意味が分からない用語があったときは、WinCDRユーザーガイド(*)の用語集を参考にしてください。**
  ***「WinCDRユーザーガイド」は、印刷物ではなくオンラインマニュアルとして提供されます。WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。**

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

ACアダプタを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、ACアダプタを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- ACアダプタを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- ACアダプタを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、ACアダプタが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

ACアダプタがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

⚠ 注意

強 制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁 止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ほこりの多いところ
　　→故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　　→故障や変形の原因となります。
・漏電、漏水の危険があるところ
　　→故障や感電の原因となります。

強 制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください

強 制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁 止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注 意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

・直射日光を当てないでください。
・シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。
　汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
・表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
・高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
・表面に手を触れないでください。
　両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
・持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。
CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

本製品のアクセスランプが点灯/点滅している時は、本製品からUSBケーブルやACアダプタを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。データが消失、破損する恐れがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに

本製品の特長や、メディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● CD-R/RW メディアに書き込み可能
本製品は、CD-RW メディアと CD-R メディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。

・書き込み時
最大 1200KB/sec（最大 8 倍速）(*1、*2)、600KB/sec（4 倍速）、300KB/sec（2 倍速）

・読み出し時：
最大 1200KB/sec（最大 8 倍速）(*1)

*1 お使いのパソコンの USB の転送速度に依存します。
*2 CD-RW メディアに 4 倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed 対応の CD-RW メディアが必要です。

● USBコネクタ（シリーズA）に接続可能
パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）に接続できます。

● MP3 データファイルから、音楽 CD（CD-DA）を作成できます。

● 多彩なフォーマット形式をサポート
次の CD のフォーマット形式をサポートしています。

CDの フォーマット形式	読み出し	書き込み	
		WinCDR (WindowsMe/98 Windows2000)	PacketMan (WindowsMe/98)
CD-DA（音楽CD）	○	○	−
CD TEXT	○(*1)	○	−
CD-ROM（Mode1）	○	○	−
パケットライト	○	−	○
CD-ROM XA	○	○	−
Photo CD	○(*2)	○(*3)	−
Video CD	○(*2)	○(*4)	−
CD Extra	○	○	−

○：サポートする
−：サポートしない

*1 パソコンで再生する場合、再生ソフトウェアが CD TEXT に対応している必要があります（付属の WinCDR の CD プレーヤーは CD TEXT に対応しています）。オーディオ機器で再生する場合、オーディオ機器が CD TEXT に対応している必要があります。

*2 読み出しには、再生ソフトウェアが別途必要です。

*3 JPG ファイルなどの画像データは、Photo CD 形式ファイルへは変換できません。

4 Video CD 形式ファイルへの変換には Video CD の規格に準拠したファイル形式（.MPG など）でキャプチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

● バッファアンダーランエラー（書き込みエラー）防止機能を搭載
CD-R/RW メディアへの書き込み中に他のアプリケーションで作業をしても、バッファアンダーランが発生しません。【P8「バッファアンダーランエラー防止機能とは?」】

● CD TEXT の作成と再生が可能
CD TEXT は、音楽 CD に曲名などの文字情報を追加した物です。CD TEXT に対応した CD プレーヤーで文字情報を表示できます。
※ WinCDR 付属の CD プレーヤーは、CD TEXT に対応しています。

● CD のバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、本製品1台だけでも可能な方法（ハードディスクに CD のイメージを作成する方法）があります。

必要なパソコン環境

- CPU .... Pentium166MHz以上(Pentium II 233MHz以上推奨)
- メモリ .... WindowsMe/98：64MB以上　Windows2000：96MB以上
- OS WindowsMe/98/2000
- ハードディスク空き容量 WinCDRのインストール用に約10MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50～800MB（*）

*　書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

バッファアンダーランエラー防止機能とは？

従来のCD-R/RWドライブでは、CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションを起動したりすると、CD-R/RWドライブのバッファ（*）が瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう「バッファアンダーランエラー」と呼ばれる現象が発生していました。

* パソコンから送られてくるデータを一時的に保管しておく装置

この現象を防ぐために開発されたのが、「バッファアンダーランエラー防止機能」です。

この技術を簡単に説明すると、次のようになります。

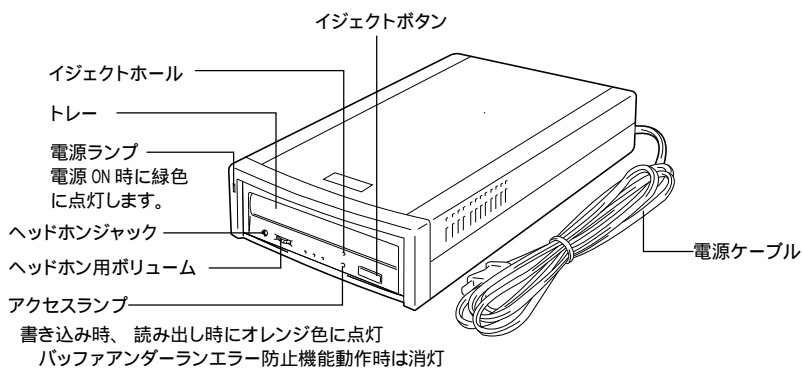
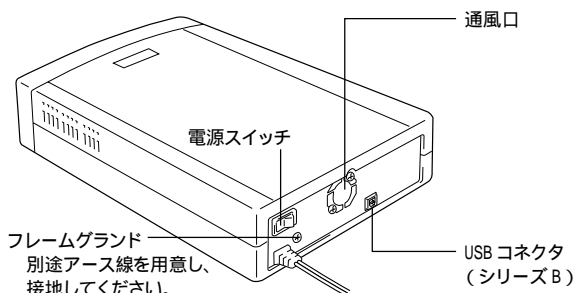
① CD-R/RWドライブ内のバッファに貯められているデータの量を監視する
② データが無くなりそうになったら、いったんCD-R/RWメディアへの書き込みを止める
③ 書き込みを中断した場所を記憶する
④ バッファにデータが溜まったら、③で記憶した位置から書き込みを再開する
* 書き込みを一時中断した時間分だけ書き込み時間が長くなります。

この働きにより、データの書き込みが途切れてしまった場合でも、続きのデータを継ぎ目なく書き込めるのです。

⚠注意　バッファアンダーランエラー防止機能は、次の状況では働きません。

- 停電や電源切断
- パソコンやソフトウェアの故障／異常
- 本製品に衝撃を与えた場合や、CD-R/RWメディアの異常
- 記録する元データやドライブ（CD-ROMドライブなど）の異常

各部の名称

●前面

●背面

付属品は、 別紙 「はじめにお読みください」 を参照して確認してください。

2 セットアップ

本製品をパソコンに取り付ける手順や本製品の使いかたについて説明しています。

セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

別紙「はじめにお読みください」を必ず参照てください。

本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする

▼

付属の「CDRW-USBシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットする（*1、*2）

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する

▼

- 「WinCDR」をインストールする 【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」参照】
- 「PacketMan」をインストールする 【別冊「PacketManクイックスタートガイド」参照】

▼

WinCDRまたはPacketManを起動する
【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」または「PacketManクイックスタートガイド」参照】

*1 CD-ROMドライブのないパソコンを使用している場合は、付属のフロッピーディスク「CDRW-J1210USBドライバディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスク内の「EASYSETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

*2 本製品ではインストールできません。パソコンに標準搭載されているCD-ROMドライブでインストールしてください。

次のページへ続く

取り付けの前に

注意事項

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

● 本製品はパソコンのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないDOS/V機やPC98-NXシリーズを使用している場合は、弊社製USBボードを使用してください。

● 1台のパソコンに、USB接続のCD・DVDドライブ（本製品を含む）を2台以上接続して使用することはできません。

● 本製品は、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品で書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。
書き込み中にUSBケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

● パソコンおよび本製品は精密機器です。「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「使用時の注意」【P13】を必ず参照してください。

● パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

● 本製品を使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。
・パソコン本体のマニュアル
・本製品および付属品

NEC PC98-NXシリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。
以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後はアドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

セットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従って作業します。別紙「はじめにお読みください」を参照してセットアップしてください。

メモ 本製品のドライバが正常にインストールされると、[デバイス マネージャ] に次のデバイスが追加されます。

WindowsMe/98 .... [CD-ROM] にCD-RWドライブのドライブユニット名が追加されます。
[ハードディスク コントローラ] に [USB-IDE Mass Storage Controller] が追加されます。
[ユニバーサル シリアル バス コントローラ] に [USB-IDE Bridge Adapter] が追加されます。

Windows2000 ..... [DVD/CD-ROMドライブ] にCD-RWドライブのドライブユニット名が追加されます。
[USB(Universal Serial Bus)コントローラ] に [USB-IDE Bridge Adapter] が追加されます。

※ [デバイス マネージャ] は次の方法で表示できます。
WindowsMe/98: [マイ コンピュータ] アイコンを右クリック→ [プロパティ(R)] をクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック
Windows2000: [マイ コンピュータ] アイコンを右クリック→ [管理(G)] → [デバイス マネージャ] をクリック

CyberTrio-NX

CyberTrio-NXは、パソコンを使う人ごとにWindowsの動作範囲やアクセスできるフォルダを限定します。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

3 取り扱いかた

本製品の基本的な操作方法を説明しています。

使用時の注意

- ＵＳＢ用ケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。
- 本製品はホットプラグに対応しています。本製品やパソコンの電源スイッチがＯＮの時でもUSBケーブルを抜き差しできます。

  ⚠注意 CD-R/RWメディアにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。CD-R/RWメディア内のデータが破損するおそれがあります。

- メディアへの書き込み中やCDの再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。
- 本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- USBケーブルを抜く前に、本製品からCDを取り出してください。
  本製品がパソコンに接続されていないときは、本製品のイジェクトボタンが動作しません。USBケーブルを抜いた状態でCDを取り出したいときは、クリップを伸ばした物などをイジェクトホールに差し込んで取り出してください。【P14】
- USBハブに本製品を接続して使用する場合、本製品へのアクセス中は、ハブに接続されている他のUSB機器のUSBケーブルを抜き差ししないでください。

メディアの取り扱いに関する注意

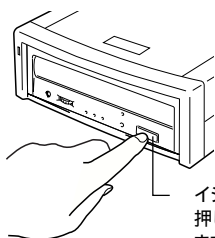
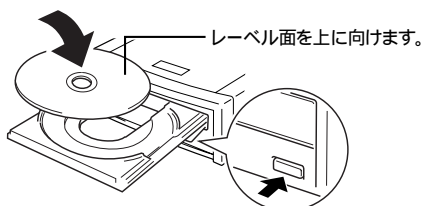
メディアは繊細です。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。
- メディアに傷を付けないでください。

CDのセット／取り出し

● CDをセットする

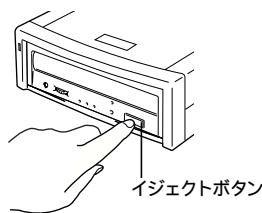
①パソコンと本製品の電源スイッチをONにします。
②パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。

④トレーにCDを載せます。

⑤もう一度イジェクトボタンを押してトレーを戻します。

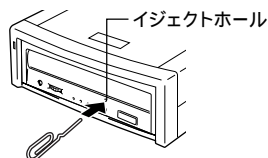
⚠注意　CDをセットする前に、USBケーブルで本製品とパソコンを接続し、パソコンの電源をONにしてください。

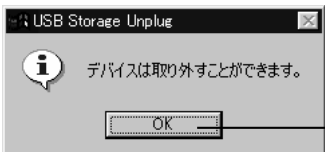
● CDを取り出す

イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

⚠注意　アクセスランプが点灯/点滅しているときは、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。CDや本製品が破損するおそれがあります。

メモ
- WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある［イジェクト］アイコンをクリックしてください。
- PacketManをインストールした環境で、パケットライト方式で書き込まれたメディアを本製品にセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面の［マイコンピュータ］内にあるCD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、メニューから［取り出し］を選択してください。

●トレーが出ないとき

停電などによって、CDが入ったままの状態で電源が切れてしまうと、イジェクトボタンを押してもトレーが排出されません。
その場合は、クリップを伸ばした物などをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。

⚠注意　この操作は、本製品の電源をOFFの状態にして30秒以上待ってから行ってください。電源をOFFの状態にした直後はCDが回転しているため、強制的に排出すると、CDが破損するおそれがあります。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチがＯＮの状態でも、次の手順で本製品を取り外すことができます。

⚠注意　本製品の取り外しは、必ず本製品のアクセスランプが点灯していないことを確認してから行ってください。

WindowsMe/98

4 USBケーブルをパソコンと本製品から取り外します。

以上で本製品の取り外しは完了です。

Windows2000

次のページへ続く

3

[OK] ボタンをクリックします。

4 **USBケーブルをパソコンと本製品から取り外します。**

以上で本製品の取り外しは完了です。

書き込みと読み出し

CD-R/RWメディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込み

メディアにデータを書き込むときは、本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」、「PacketMan」のいずれかを使用します。
ライティングソフトウェアのインストール方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

⚠注意
- 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- WinCDR、PacketManで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

メモ CD-R/RWメディアの書き込みには次の書き込み速度が選択できます。

	12倍速 (*1、*2)	10倍速 (*1、*2)	8倍速 (*2)	4倍速	2倍速
CD-R	○	−	○	○	○
CD-RW	−	−	−	○	○
CD-RW HighSpeed	−	○	−	○	−

○：書き込み設定可
−：書き込み設定不可

*1 選択できますが、実際の書き込み速度は最大8倍速となります。CD-RW HighSpeedメディアで8倍速書き込みをしたいときは、「10倍速」を選択してください。
*2 WinCDRの転送エラー防止機能を必ず有効にして書き込んでください。

WinCDR、PacketManの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」の1ページ参照】

本製品の操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

ライティングソフトウェアの特徴

● WinCDR

音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。
- Windows用のライティングソフトウェアです。対応OSはWindowsMe/98/2000です。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。
  ※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
  ※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z（大文字）です。

⚠注意
- 本製品の仕様により、WinCDRの設定ダイアログボックス(*)で[ｺﾋﾟｰ許可]を選択できません。
  * [ｺﾋﾟｰ許可]が含まれるダイアログボックスは、WinCDRのメイン画面で[設定]−[CDの設定](または[設定]−[ﾄﾗｯｸ設定])を選択すると表示されます。
- 本製品の仕様により、バッファアンダーランエラー防止機能有効時（転送エラー防止機能使用時）は、[書き込み手順]で「書き込みのみ」以外は選択できません。
  ※ バッファアンダーランエラー防止機能を無効にすると、[書き込み手順]で「テストのみ」、「テスト後に書き込み」も選択できるようになります。

次のページへ続く

● PacketMan

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

・Windows 用のライティングソフトウェアです。 対応 OS は WindowsMe/98 です。
・小さなパケット単位で書き込むので、 バッファアンダーランが発生しません。
・小さなファイルを記録する場合も、 ディスク容量が無駄になりません。
・ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
・ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、 ファイルを削除できます。
※ CD-RW メディアを使用している場合は、 削除によって空き容量が増えますが、 CD-R メディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

⚠注意 **100MB を超える大容量のファイルを書き込むときは、 WinCDR を使用してください。**

● ライティングソフトウェアの比較

○：対応　－：非対応

	WinCDR (WindowsMe/98 Winndows2000)	PacketMan (WindowsMe/98)
ISO9660（CD-ROMの標準ファイルフォーマット）	○	－
CD-DA（音楽CDフォーマット）	○	－
CD TEXT	○	－
Mixed Mode CD（CD-DAとデータの混在フォーマット）	○	－
CD-ROM XA（ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット）	○	－
フォトCD（フォトCDイメージファイル）	○	－
CD-ROM　Mode1	○	－
CD Extra（ブルーブック0.9までをサポート）	○	－
マルチセッションサポート（追記記録方式）	○	－
パケットライト（追記記録方式）	－	○
ディスクアットワンス	○	－
トラックアットワンス	○	－
セッションアットワンス	○	－
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	○
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	－
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	－
ロングファイル名サポート	○	○
Joliet（DOS名と64文字までのファイル名）	○	－
DOSファイル名（8.3）	○	－
ISO9660レベル1標準（8.3）	○	－

書き込み方式

本製品付属のライティングソフトウェアは、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア
ディスクアットワンス	WinCDR
トラックアットワンス	WinCDR
セッションアットワンス	WinCDR
パケットライト	PacketMan

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。【P17「ライティングソフトウェアの特徴」】

● ディスクアットワンス方式
本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・リードインからリードアウトまでを１回で書き込む。
・１枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して１回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ　**書き込み時に、WinCDRで「Disc at once/Session at once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。**

●トラックアットワンス方式
本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意 **・2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。**
・1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、WinCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。

メモ　書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● セッションアットワンス方式
本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ　音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、WinCDRで「Disc at once/Session at once」を選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。

● パケットライト方式
本製品付属のライティングソフトウェア「PacketMan」は、この書き込み方式に対応しています。
・パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
・パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくはカタログを参照してください。

- CD-RWメディア .... RICOH、三菱化学、TDK、日立マクセル
- CD-RWメディア（High Speed対応）....... RICOH、三菱化学
- CD-Rメディア .... 太陽誘電、RICOH、FUJIFILM、SONY、イメーション、日立マクセル

⚠注意 上記以外のメディアでは、最大速度での書き込み動作を保証致しかねます。書き込めないときは、書き込み速度を下げてください。

制限事項

＜CD-RWについて＞

● CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。
CD-RW対応の弊社製ドライブ（2001年6月現在）は次のとおりです。
CRWU2、CRWU、CRWiF、CRWS、CRWI、CDRW、CDRシリーズ
DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAMT5.2G、RAM5.2G/A
DVD-ROM16FB、ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB
CDS-S40、S35SL、S24SL、S24
CDI-48FB、40FB、32FB、24FB
CDN-D24VA、D24EX、D12EX

※ 使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

● CD-RWでは、1000回以上のデータの書き換えが可能です。

● WinCDRで書き込みをしたデータを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

● CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをする場合は、High Speedに対応したCD-RWメディアを使用してください。High Speedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

※ このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

読み出し

本製品は、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。

- 音楽CD（CD-DA）
- CD-ROM（Mode1）
- CD-ROM XA Mode2（Form1、Form2）
- Video CD（*2）
- CD TEXT（*1）
- CD Extra
- Photo CD（*2）

*1 再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています。

*2 読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

メモ 書き込み時に本製品を読み込みのドライブとして使用する場合、選択できる読み込み速度は、32倍速（*3）、20倍速（*3）、8倍速、4倍速です。

*3 選択できますが、実際の読み込み速度は最大8倍速となります。

⚠注意 **PacketManで書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにもPacketManのドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、WinCDRのCD-ROMに収録されているPacketManリーダーをインストールしてください。PacketManリーダーをインストールするには、WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら［PacketMan Reader］をクリックします。**

5 音楽CDを聴くには

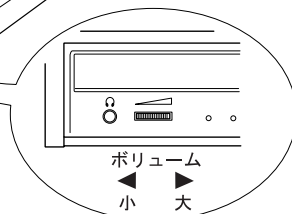
本製品でCD内の音楽を聴く方法を説明しています。

ヘッドホンの接続

本製品には、ヘッドホンで音楽CD（CD-DA）などを楽しめるように、ヘッドホン出力端子が付いています。

本製品の前面にあるヘッドホン出力端子にヘッドホンのプラグ（ステレオミニプラグ）を接続し、ヘッドホン用ボリュームで音量を調整します。

※ ヘッドホンは別途ご用意ください。

⚠注意 **大きな音量で長時間使用すると、聴覚障害の原因となります。**

パソコン本体のスピーカやパソコンに接続したスピーカで音楽を聞くには

Windows Media Player 7（*）など、デジタル再生に対応したプレーヤーを使用すれば、パソコン本体のスピーカやパソコンに接続したスピーカで音楽を聞くことができます。

* Microsoft社のソフトウェアです。WindowsMeには標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

Windows Media Playerで再生するには、次のようにデジタル再生の設定を行ってください。

① Windows Media Player 7を起動します。

② メニューから［ツール(T)］－［オプション(O)］を選択します。

③ ［CDオーディオ］タブをクリックします。

④ ［再生の設定］項目中の［デジタル再生(K)］のチェックボックスをクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

※ Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。
※ パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、本製品にヘッドホンを接続して聴くか、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

⚠注意 **デジタル再生中は、本製品に接続したヘッドホンでは音楽を聴けません。ヘッドホンで聴くときは、プレーヤーのヘルプを参照してデジタル再生を無効にしてください。**

再生のしかた

⚠注意 事前にヘッドホン用ボリュームを下げておいてください。

WinCDRに付属のCDプレーヤーを使用します。このCDプレーヤーは、WinCDRのインストール後に使用可能になります。

[スタート]－[プログラム(P)]－[WinCDR]－[CDプレーヤー]と選択します。

操作方法は、CDプレーヤーのポップアップウィンドウ（操作ボタン上にマウスカーソルを重ねると表示される文字情報）を参照してください。

※ Windowsに標準で付属しているCD再生機能でも再生できます。操作方法はWindowsのヘルプを参照してください。

6 付録

困ったときは

本製品を使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

一般的なトラブル

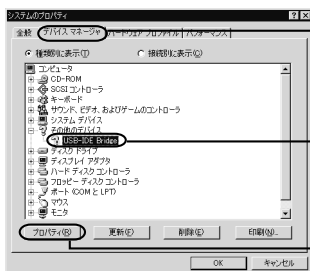
本製品が認識されない

本製品が正しく接続されていない	USBケーブル、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。【別紙「はじめにお読みください」】
ドライバが正しくインストールされていない	簡単セットアップを実行する前に本製品にUSBケーブルを接続すると、ドライバが正しくインストールされません。次の手順でドライバをインストールし直してください。

WindowsMeでのドライバ再インストール手順

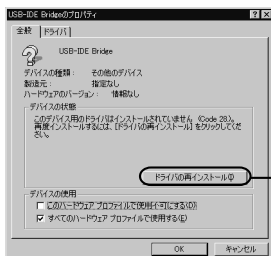
簡単セットアップを実行したにもかかわらず本製品が認識されないときは、次の手順でドライバをインストールし直してください。

1 ［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ(R)］を選択します。

2

①［デバイス マネージャ］タブをクリックします。

②［その他のデバイス］の下に表示されている［USB-IDE Bridge］をクリックします。

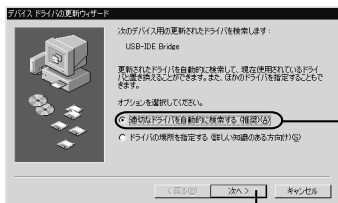
③［プロパティ(R)］ボタンをクリックします。

3

［ドライバの再インストール(I)］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

4

① 付属のCD-ROM「CDRW-USBシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。
CD-ROMドライブが無い場合は、付属のフロッピーディスク「CDRW-J1210USBドライバディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

② ［適切なドライバを自動的に検索する(推奨)(A)］をクリックしてチェックマーク（•）を付けます。

③ ［次へ>］ボタンをクリックします。

CD-ROMをセットした場合、「簡単セットアップ」が起動することがあります。その場合は、ウインドウ右上の☒をクリックして「簡単セットアップ」を終了させてください。

5

［完了］ボタンをクリックします。

6 続いて、「USB-IDE Mass Storage」のドライバをインストールするための［新しいハードウェアの追加ウィザード］が、自動的に起動します。手順4、5に従って操作します。

Windows98でのドライバ再インストール手順

1 P24「WindowsMeでのドライバ再インストール手順」の手順1〜手順3に従って操作します。

2

［次へ>］ボタンをクリックします。

3

① 付属のCD-ROM「CDRW-USBシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。
CD-ROMドライブが無い場合は、付属のフロッピーディスク「CDRW-J1210USBドライバディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

② ［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを選択する(推奨)］をクリックしてチェックマーク（•）を付けます。

③ ［次へ>］ボタンをクリックします。

CD-ROMをセットした場合、「簡単セットアップ」が起動することがあります。その場合は、ウィンドウ右上の☒をクリックして「簡単セットアップ」を終了させてください。

次のページへ続く

4

① [検索場所の指定(L)] をクリックしてチェックマーク (✓) を付け、D:\WIN98_2Kと入力します (ユーティリティCD使用時)。
※ 下線部にはユーティリティCDをセットしたドライブ名を入力します。
A:\DRIVERSと入力します (ドライバディスク使用時)。
※ 下線部にはドライバディスクをセットしたドライブ名を入力します。

② [次へ>] ボタンをクリックします。

5

[次へ>] ボタンをクリックします。

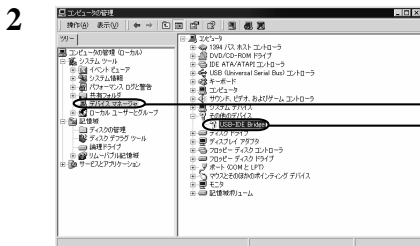
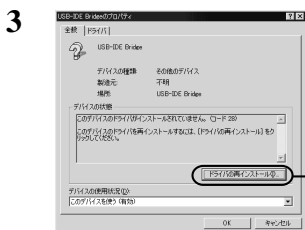
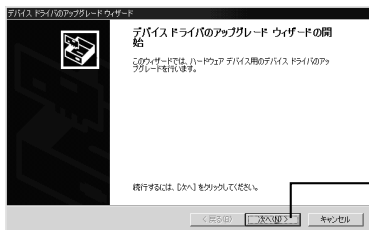
6

[完了] ボタンをクリックします。

7 続いて、「USB-IDE Mass Storage」のドライバをインストールするための[新しいハードウェアの追加ウィザード]が、自動的に起動します。手順2〜手順6に従って操作します。

Windows2000でのドライバ再インストール手順

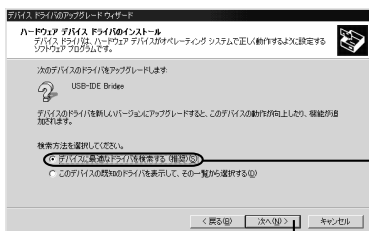
1 [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、[管理] を選択します。

2

① [デバイス マネージャ] をクリックします。

② [その他のデバイス] の下にある [USB-IDE Bridge] を右クリックし、[プロパティ(R)] を選択します。
* お使いの環境によっては、デバイス名が[USB/ATA Bridge]と表示されることがあります。

3

[ドライバの再インストール(I)] ボタンをクリックします。

4

［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

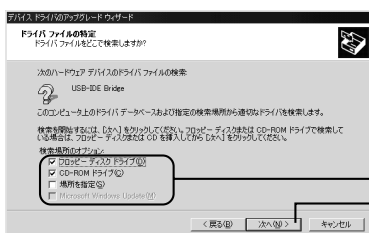
5

① 付属のCD-ROM「CDRW-USBシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMドライブが無い場合は、付属のフロッピーディスク「CDRW-J1210USBドライバディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

② ［デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)］をクリックしてチェックマーク（・）を付けます。

③ ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

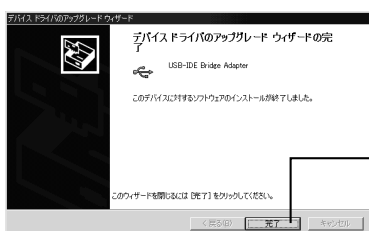
CD-ROMをセットした場合、「簡単セットアップ」が起動することがあります。その場合は、ウィンドウ右上の☒をクリックして「簡単セットアップ」を終了させてください。

6

① ［フロッピー ディスク ドライブ(D)］、［CD-ROMドライブ(C)］をクリックしてチェックマーク（✓）を付けます。

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

7

［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

8

［完了］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

6 付録

トレーが排出されない

本製品の電源スイッチがOFFになっている	本製品の電源スイッチをONにしてください。 停電などによって本製品の電源が入らないときは、【P14「トレーが出ないとき」】を参照して強制的にトレーを排出してください。
パソコンが本製品を認識していない	OSの起動しているパソコンに本製品を接続してください。
パソコンと本製品の電源スイッチがOFFになっている	パソコンと本製品の電源スイッチをONにしてください。

パソコンが起動しない

パソコンの環境が壊れた	パソコンに付属の起動ディスクとCD-ROMを使用して、OSを再セットアップしてください。WinCDRの「NORTON Ghost」機能であらかじめバックアップCDを作成しておけば、被害を最小限にできます。【P33「万一に備えたデータのバックアップと復元」】

PacketManをインストールしたら内蔵CD-ROMドライブが使えなくなった

次のパソコンでは、PacketManのドライバが競合し、内蔵CD-ROMドライブが使用できないことがあります。

・ パソコンを起動しなくてもCD-ROMドライブでCDの再生などができる機種

この場合、内蔵CD-ROMドライブとPacketManを同時に使うことはできません。内蔵CD-ROMドライブを使うときは、タスクバーのPacketManのアイコンを右クリックし、[PacketManを無効にする]を選択してください。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。その場合はパソコンに標準搭載されているドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。
※ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

Windowsが正常に起動しない

お使いの環境によっては、電源スイッチをONにした本製品を接続したままパソコンを起動すると、Windowsが正常に起動しない（Winodows保護エラーが発生する）ことがあります。

このような場合、次の手順に従ってパソコンを起動してください。
①本製品とパソコンの電源スイッチをOFFにします。
②本製品をパソコンから取り外します。
③パソコンの電源スイッチをONにします。
④本製品の電源スイッチをONにします。
⑤本製品をパソコンに取り付けます。
以後使用するときは、パソコンの起動後に本製品を取り付けてください。

読み出し時のトラブル

2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している	ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。
CDが汚れている、または破損している	CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。
CDが裏返しになっている	CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応していない	CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWメディアに対応したドライブで読み出してください。【P20「制限事項」】

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ	WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名（8＋3形式）で書き込んでください。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した	弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

ヘッドホンから音楽CDの音声が聴こえない

ボリュームが最小になっている	本製品前面のヘッドホン用ボリュームで調整してください。
デジタル再生に設定している	デジタル再生中は、本製品に接続したヘッドホンでは音楽を聴けません。ヘッドホンで聴くときは、プレーヤーのヘルプを参照してデジタル再生を無効にしてください。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランが発生する）

バッファアンダーランエラー防止機能が無効になっている	WinCDRの［設定］メニューで［書き込み設定］を選択します。この画面で［転送エラー防止機能を使用］のチェックボックスをチェックして、バッファアンダーランエラー防止機能を有効にしてください。【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】 *WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	本製品付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている	CD-R/RWメディアにだけデータを書き込めます。CD-ROMや音楽CD（CD-DA）などには書き込めません。
本製品の電源が入っていない	本製品にACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
USBケーブルが正しく接続されていない	本製品を含むUSB機器にUSBケーブルを正しく接続してください。

CD-R/RWメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている	ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
メディアの容量が足りない	新しいメディアに書き込んでください。
他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している	他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。本製品で書き込んだメディアを使用してください。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。

書き込みができない

メディアが対応していない	CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。ライティングソフトで設定した書き込み速度に対応したメディアを使用してください。
メディアが傷ついたり汚れが付着している	メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。
ライティングソフトウェアが本製品に対応していない	本製品に付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。

パケットライト方式で書き込んだCD-R/RWメディアを読み出せない

CD-ROMドライブがパケットライト方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、パケットライト方式に対応していない物があります。
読み出しを行うパソコンにPacketManのドライバがインストールされていない	読み出すパソコンにPacketManリーダーをインストールする必要があります。WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら、[PacketMan Reader]をクリックします。

作成した音楽CDで音飛びが発生する

メディアによっては、作成した音楽CDで音飛びが発生することがあります。その場合は、書き込み速度を下げて書き込みを行ってください。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、本製品で音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を8倍速以下に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド(*)」を参照してください。 *WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、オンザフライでの書き込みやコンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、本製品にCDをセットしてバックアップを行ってください。

本製品を読み出しドライブにした場合に、他のCD-R/RWドライブでオンザフライ方式でのCDのバックアップができない

CD-R/RWドライブによっては、オンザフライ方式でCDをバックアップできないことがあります。その場合は、本製品だけを使用してCDをバックアップしてください。

DVD-RAMドライブから音楽CDを読み出せない

DVD-RAMドライブにセットしたCDからWAVEデータを作成する場合、音楽データが読み出せないことがあります。この場合は本製品に音楽CDをセットし、本製品から音楽データを読み出してください。

WinCDRで簡易消去（高速）がグレーに表示されていて実行できない

マルチセッションで書き込まれたCD-RWメディアを使用している	本製品の仕様によりマルチセッションで書き込まれたCD-RWメディアは簡易消去はできません。そのようなCD-RWメディアは消去（低速）を実行してください。

WinCDRでテスト書き込みができない

バッファアンダーランエラー防止機能が有効になっている	本製品の仕様により、バッファアンダーランエラー防止機能（転送エラー防止機能使用時）は、［書き込み手順］で「書き込みのみ」以外は選択できません。 無効にすると[テストのみ]、[テスト後に書き込み]が選択できます。

WinCDRでCD-Rのリペアがグレーに表示されていて実行できない

本製品の仕様により、CD-Rのリペア機能を使用できません。WinCDRの画面でリペアの項目はグレーに表示され実行できません。

万一に備えたデータのバックアップと復元

システム環境が壊れてパソコンが起動しなくなったときのための準備と、対処方法を説明しています。

パソコン購入時の状態に復元したい

パソコンに付属の再セットアップCD-ROMで、パソコン購入時の状態を復元できます。復元したいときは、次の作業を行ってください。

⚠注意 次のすべての条件を満たす場合は、パソコンに付属の再セットアップCD-ROMではデータを復元できません。NORTON Ghostでバックアップの作成と復元を行ってください。

- **パソコンにCD-ROMドライブが内蔵されていない**
- **付属の「起動ディスク作成ユーティリティ」の選択画面で表示されないパソコン【P35「パソコンに付属の起動ディスクを書き換えるときの注意事項」参照】**

システムが正常なときに準備します。

パソコンに付属の起動ディスクと、
再セットアップ用CD-ROMを用意します。

▼

すでにパソコンに内蔵のCD-ROMドライブがあるとき	内蔵CD-ROMドライブがないとき
内蔵のCD-ROMドライブでデータを復元します。 起動ディスクを書き換える必要はありません。	本製品でデータを復旧するには、起動ディスクを付属の「起動ディスク作成ユーティリティ」で書き換える必要があります。 【P35「起動ディスク作成ユーティリティの使いかた」】

パソコンを購入した時点の状態に戻したいときにだけ行います。

起動ディスクと再セットアップ用CD-ROMを
パソコンにセットします。

▼

再セットアップ用CD-ROMからデータを復元します。
【パソコン本体のマニュアルを参照】

▼

復元完了
パソコンを購入した時点の状態に復元されます。
（購入後に作成・変更したデータは復元されません）

6

付録

現在のパソコン環境を復元できるようにしたい

WinCDRには簡単にCD-R/RWメディアにバックアップが作成できるNORTON Ghost(*)が付属しています。万一に備え、次の手順でバックアップを作成しておくことをおすすめします。

* NORTON Ghost:付属のアプリックス社製WinCDRに含まれるバックアップユーティリティ
【WinCDRインストール時にスタートメニューに登録される「WinCDRユーザーガイド」参照】

⚠注意 **USB-FDDモデル(USBコネクタが1つしかなく、フロッピードライブがUSBで接続されている機種)のパソコンをお使いの方へ**

- **バックアップするには、別途弊社製USBハブ(UHB-S7/S4)が必要です。USBハブを別途用意して本製品とフロッピードライブを同時に使用できる環境にする必要があります。書き込み中はUSBケーブルに触らないでください。**
- **Windows2000を搭載しているUSB-FDDモデルでは、バックアップしたシステムを本製品で復元することはできません。復元にはパソコン本体に内蔵のATAPI CD-ROMドライブをお使いください。**

システムが正常なときに準備します。

NORTON Ghost用起動ディスクを作成します。
【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】

▼

NORTON GhostでCD-R/RWメディアにバックアップを作成します。
【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】

▼

すでにパソコンに内蔵のCD-ROMドライブがあるとき	内蔵CD-ROMドライブがないとき
内蔵のCD-ROMドライブでデータを復元します。 起動ディスクを書き換える必要はありません。	本製品でデータを復旧するには、NORTON Ghostで作成した起動ディスクを付属の「起動ディスク作成ユーティリティ」で書き換える必要があります。 【P35「起動ディスク作成ユーティリティの使いかた」】

バックアップした時点の状態に戻したいときにだけ行います。

NORTON Ghostで作成した起動ディスクとバックアップしたCD-R/RWメディアをパソコンにセットします。

▼

バックアップしたCD-R/RWメディアからデータを復元します。
【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】

▼

復元完了
バックアップした時点の状態に復元されます。
(バックアップ作成後に作成・変更したデータは復元されません)

※「WinCDRユーザーガイド」は、WinCDRのインストール時にスタートメニューに登録されます。

起動ディスク作成ユーティリティの使いかた

起動ディスク作成ユーティリティとは

起動ディスクでパソコンを起動したときでも、本製品(USB接続のCD-RWドライブ)を使用できるよう、パソコンに付属の起動ディスクや、Ghostで作成した起動ディスクの内容を書き換えるプログラムです。

パソコンにCD-ROMドライブが内蔵されていないなどの理由でデータの復元に本製品を使用するときは、本書に記載の手順で起動ディスクを書き換える必要があります。

⚠注意
- **システムが正常に動作しているときに、起動ディスクを書き換えておいてください。システムが正常に動作しない状態では、起動ディスクを書き換えることはできません。**
- **NORTON Ghostおよび起動ディスクユーティリティはMac OSには対応していません。MacOSで再セットアップに本製品を使用することはできません。あらかじめご了承ください。**
- **NORTON Ghostで作成した起動ディスクは、NORTON Ghostでのバックアップ完了後に本ユーティリティを使用して書き換えてください。**

パソコンに付属の起動ディスクを書き換えるときの注意事項

●起動ディスク作成ユーティリティで表示される選択肢に無いパソコンをお使いの方は、パソコンに付属の起動ディスクを書き換えることができません。2001年6月現在、起動ディスク作成ユーティリティで選択できるパソコンは次のとおりです。

SONY ...... VAIO 505S
東芝 ...... DynaBook SS3440、DS60P　Libretto ff1100
シャープ ... Mebius PC-PJ1-M3、PC-PJ2
NEC .... VersaProNX VA26D/WT、VA30D/WT、VA26D/WX、VA26H/WS

起動ディスク作成ユーティリティで選択できないパソコンをお使いの方は、NORTON Ghostでシステムのバックアップを行ってください。バックアップの際に作成したGhost用起動ディスクは、起動ディスク作成ユーティリティで書き換える必要があります。

●SONY VAIO 505Sは、起動ディスクがパソコンに付属していません。事前に起動ディスク(PCCARD用起動ディスク)を作成してください。他の起動ディスクでは、本製品でパソコン付属の再セットアップ CD-ROMを使って再セットアップすることはできません。

●SHARP Mebius PC-PJ1-MA、PCJ2は、起動ディスクがパソコンに付属していません。事前に起動ディスク(リカバリCD用起動ディスク)を作成してください。

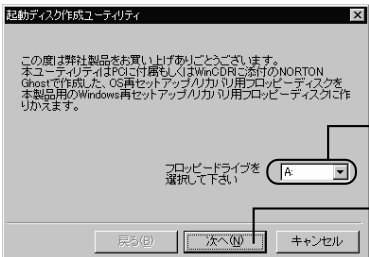
● USB-FDDモデル(USBコネクタが1つしかなく、フロッピードライブがUSBで接続されている機種)のパソコンでは、Windowsで作成した起動ディスクや、パソコンに付属の起動ディスクを起動ディスク作成ユーティリティで書き換えても本製品を使用できません。NORTON Ghostでバックアップの作成と復元を行ってください。

起動ディスクの書き換え

本製品を使ってデータを復元できるように、起動ディスクの内容を書き換えます。付属の起動ディスク作成ユーティリティを使用し、次の手順で操作してください。

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにして、WindowsMe/98を起動します。**

2 **付属の「CDRW-USBシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。**

簡単セットアップが起動します。

次のページへ続く

簡単セットアップが起動しない場合

1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］を選択します。

2 ［名前(O):］にD:\EASYSETUP.EXEと入力して［OK］ボタンをクリックします。
下線部にはCD-ROMドライブのドライブ名を入力します。

3 ［添付ソフト「起動ディスク作成ユーティリィティ」の実行］を選択し、［開始］ボタンをクリックします。

4

①起動ディスクの書き換えに使用するフロッピードライブを選択します。

②［次へ(N)］ボタンをクリックします。

5

① ▼ をクリックしてリストを表示し、使用しているパソコンのメーカーを選択します。

②［次へ(N)］ボタンをクリックします。

※ Windowsで作成した起動ディスクで起動したときに本製品を使うには、起動ディスクを書き換える必要があります。Windowsで作成した起動ディスクを書き換えるには[その他のメーカー]を選択し、使用しているOSに応じて[Windows98SE 起動ディスク1]、[WindowsME 起動ディスク]のいずれかを選んでください。Windows2000では[Ghost起動ディスク]を選んでください。

次のページへ続く

6

①使用しているパソコン名、またはGhost起動ディスク(*)を選択します。

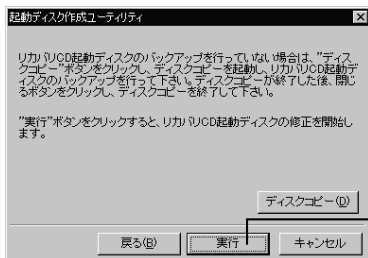
②［次へ(N)］ボタンをクリックします。

画面はWindows98の例です。

使用しているパソコンが選択肢に無いときは、パソコンに付属の起動ディスクを書き換えないでください。あらかじめGhost起動ディスクを作成し、Ghost起動ディスクを書き換えてください。

＊ NORTON Ghostで作成した起動ディスクを書き換えるときは

- USB-FDDモデル(USBコネクタが一つしかなく、フロッピードライブがUSBで接続されている機種)のパソコンをお使いの方は、[Ghost起動ディスク(USB-FDDモデル)]を選択してください。
- USB-FDDモデル以外のパソコンをお使いの方は、[Ghost起動ディスク(USB-FDDモデル以外)]を選択してください。

7

①メッセージに従って、 起動ディスクのバックアップディスクを、フロッピードライブにセットします（メッセージはパソコンによって異なります）。

※Windows98で作成した起動ディスクは2枚ありますが、1枚目のバックアップディスクを使用します。

②［実行］ボタンをクリックします。

まだ起動ディスクのバックアップディスクを作成していない場合は、[ディスクコピー(D)]ボタンをクリックし、画面の指示に従って作成してください。

⚠注意 **以降の操作によって、起動ディスクの内容が書き換えられます。必ずバックアップディスクを使用してください。**

8 以降は画面の指示に従って操作してください。

以上で起動ディスクは本製品を認識するように書き換えられました。

次へ 本製品をパソコンに接続し、書き換えた起動ディスクを使用してデータを復元してください。
•NORTON Ghostを使用する場合 ....【P38「NORTON Ghostでシステムを復元する」参照】
•システムを再セットアップする場合 .....【パソコン本体のマニュアル参照】

⚠注意 **「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示された場合は、ハードディスクに任意のフォルダを作成し、そのフォルダに起動ディスク作成ユーティリティ(「CDRW-USBシリーズユーティリティCD」の\Utilityフォルダの中の内容すべて)をコピーしてください。コピーが終わったら、ハードディスクにコピーしたCDSUP.EXEをダブルクリックし、P36の手順5に進んでください。**

NORTON Ghostでシステムを復元する

NORTON Ghostを使ってCD-R/RWメディアにバックアップしたシステムを、次の手順でハードディスクに復元します。

⚠注意
- 弊社製USB接続CD-RWドライブを使用している場合、NORTON Ghostによるシステム復元には、Ghost用起動ディスクの書き換えが必要です。起動ディスクを書き換えていない場合は、次の作業を行う前に書き換えてください。【P35「起動ディスクの書き換え」】
- NORTON Ghostを使ってデータを復元すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、次の作業を行う前にデータをバックアップしてください。

1 **パソコンと周辺機器（本製品を含む）を接続し、周辺機器の電源スイッチをONにします。**

2 **フロッピードライブにGhost用起動ディスクをセットし、本製品にシステムをバックアップし、CD-R/RWメディアをセットします。**

バックアップしたCD-R/RWメディアが複数枚ある場合は、1枚目のメディアをセットしてください。

3 **パソコンの電源スイッチをONにします。**

この後の操作は、「WinCDRユーザーガイド*」内の「システムがインストールされているハードディスクへのイメージファイル復元方法」の手順3以降を参照してください。

＊「WinCDRユーザーガイド」は、WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

項目		仕様
インターフェース		USB
準拠規格		USB Specification Rev1.1
コネクタ		USB シリーズB
アクセスタイム（平均）		120msec（ランダムアクセス時）
データバッファサイズ		2MB
転送速度	書き込み時	最大1200KB/sec（最大8倍速)(*1、*2)、600KB/sec(4倍速)、300KB/sec(2倍速)
	読み出し時	最大1200KB/sec（最大8倍速）(*1)
バッファアンダーランエラー防止機能		あり
サイズ		164(W)×63(H)×290(D)mm
重量		1.8kg
消費電力		平均：11W　　最大：24W
動作環境	温度	5〜35℃
	湿度	20〜80%（結露無きこと）
対応機種		USBインターフェースを標準搭載する次の機種 ・DOS/V機（OADG仕様）（*3） ・NEC製 PC98-NXシリーズ（*3）
対応OS		WindowsMe/98/2000

*1　お使いのパソコンのUSBの転送速度に依存します。

*2　CD-RWメディアに4倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

*3　USBインターフェースを搭載していない機種をお使いの場合は、弊社製USBインターフェースボードを別途お買い求めいただき、パソコンに取り付けてください。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ WinCDR、PacketManのサポートについて

WinCDRクイックスタートガイドにとじ込まれているお客様登録カード(株式会社アプリックス)は、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、PacketManの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」内の1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、PacketManに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CDRW-J1210USB ユーザーズマニュアル

2001年6月7日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

http://www.melcoinc.co.jp/

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東　京> 03-5350-7990

月〜金 9:30〜12:00/13:00〜19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30〜12:00/13:00〜17:00　※年末年始と日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1188

月〜金 9:30〜17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。